

CREATIVE COMMUNE

BABY

THE COFFEE

BREW

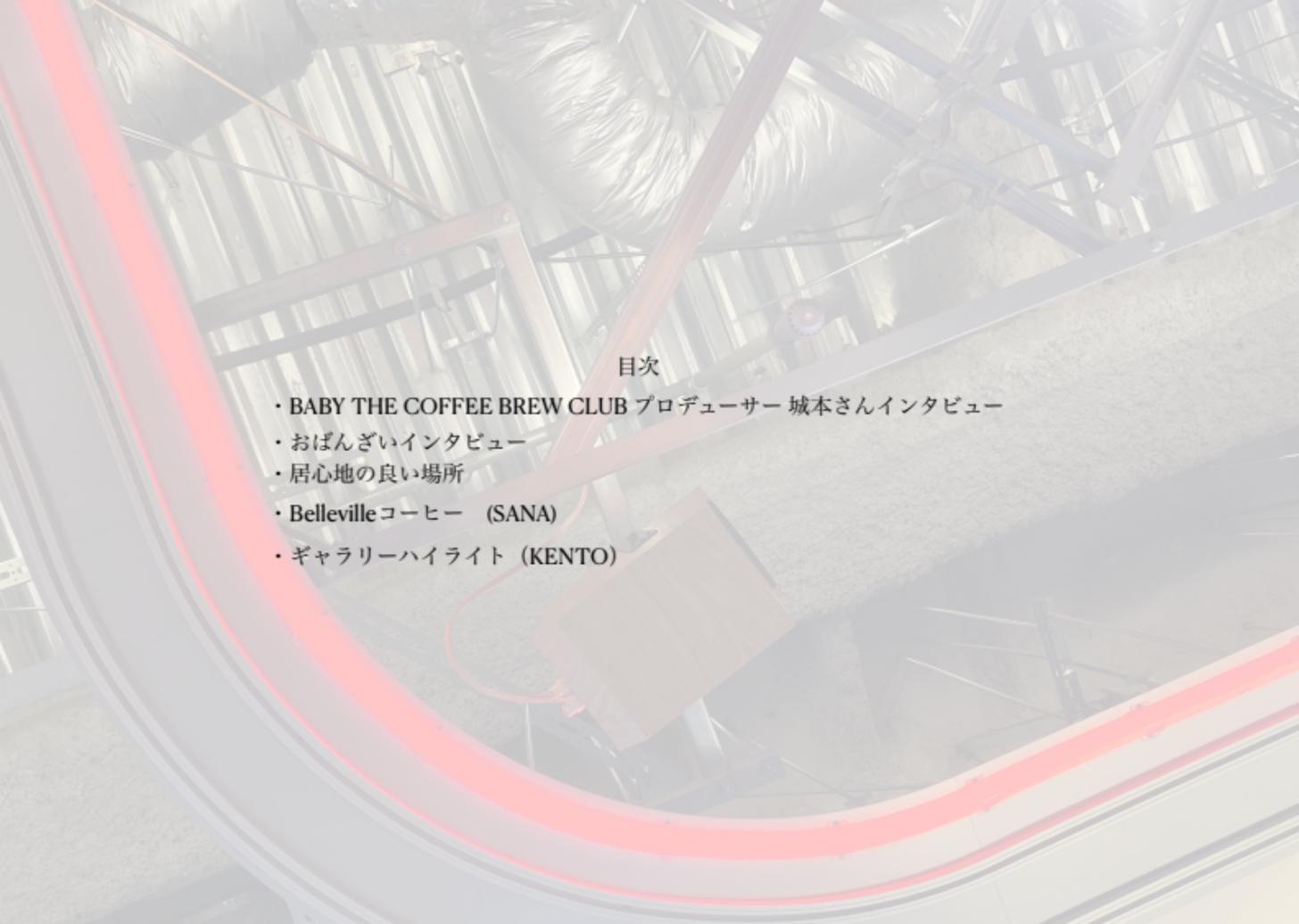
CLUB

2024

09

No.2

Company newsletter



目次

- ・ **BABY THE COFFEE BREW CLUB** プロデューサー 城本さんインタビュー
- ・ おばんざいインタビュー
- ・ 居心地の良い場所
- ・ **Belleville** コーヒー (SANA)
- ・ **ギャラリーハイライト** (KENTO)

BABY THE COFFEE BREW CLUB プロデューサー 城本 久嗣さん(ii inc.)インタビュー

○BABY HOTDOG CAFE からBABY THE COFFEE BREW CLUBへ移転？

移転したという認識ではなくて
全く別の業態で別のブランドとして大木さんとリスタートした。

大木さんが博報堂時代に運営していたトレントレイントレインという施設の一階を借りして、
BABY HOTDOG CAFE を営業していた。
全体のプロジェクトが終了することとなり、カフェも閉店。

ハラカドで新しく始まる会員制ラウンジを一緒にすることになり、
ベイビーっていうコミュニティとアイデンティティをプラスし、
ホットドックとベイビーという名前を用いてリスタートした。



○BABY HOTDOG CAFE を作ろうと思ったきっかけ

ii inc.はプロデューサーブティックとして
仕事の中でクリエイターと仕事することが多い。
クライアントの課題とか事業があった時に、クリエイターの人とかいろんなスペシャリストやプロフェッショナルな人を集めて一つのチームを作って、
一つの事業やプロジェクトを催していく。

クリエイターのコミュニティを求める人がいて、クリエイターのコミュニティをもっている人もいて、
そのような人たちが集まれる場所を作りたいという気持ちで飲食店をやりたいという気持ちがあった。

ホットドックやファストフードが好きだからホットドック屋さんにした。

○BABYという名前の理由

赤ちゃんが1番クリエイティブ。子どもみたいになっている時が1番クリエイティブ。
好きなことを無邪気に話し合っていて、それを実現させようとしていて、大きいクリエイティブが発揮されている。
大人になったら薄れてしまうその瞬間が大切で、発揮できる大人の社交場みたいなものを作りたいという想いで
ベイビーという名前ができた。

○イベントを作るときに意識していること

1、さまざまな人がこの場所を使って、自由に共有すること。
クリエイターの人がアウトプットしたいもの、新しいチャレンジの実現を僕たちの企画でサポートできるかをすごく大切にしている。

アウトプットの方法も様々な形があると思うから、
大きいスクリーンやいいスピーカーや照明などを用意して、持ち込み規格がしやすい、かつ安価な場所を貸し出している

僕たちが企画するときはこのようなことしたい、あのようなことしたいという新しい使い方をできるだけ共有をしたい。

2、僕らが主催、提供するコンテンツに関しては幅を大切にしている。
お客様、会員様のインスピレーションになることがBABY THE COFFEE BREW CLUB (以下、BCBC)の存在価値になると思うから、
BCBCっぽいにこだわらずにいろんな業種、ジャンルに幅を利かせていく。
今まで会員の方が出会ったことのないようなコンテンツに出会ってもらって、
新しいアイデアにつながることを目標としている。

BCBCに関わるあらゆる人のコンテンツがあるから、幅ができてくる。

○働く人、BCBCスタッフに求めていること

居心地、、、
人によって居心地の良さは異なる。

BCBCの接客やホスピタリティってこうであるべきとかなない

一人一人がお客様のことを考えて、一人一人がその人の居心地のことを考えて提供していたら素晴らしいチームだと思う。

自分達の解釈でこうやったら喜んでもらえそうだな、自分に会いに来てもらえそうだなってことを一人ひとりが考えて、提供していく。

○城本さんにとっての居心地とは

僕にとっての居心地がいい場所は空間の雰囲気とか人が作り出すもの
どのような人がいるか、誰がいるかが1番大切。

この場所にいたら誰かに会えるとか、この場所にいたら誰かと話せるとか
そういうことが居心地に1番つながる
マイホーム感。



○どのようなチームを作りたいか

一人一人のクリエイティビティが発揮されているチーム。
たくさん発言して、たくさん意見を出して、
採用されまいが採用されようがめげずに提案しあえる場所。
出したアイデアに対して責任を持って実行でき、変わり続ける人がチームとして強い。

とにかく長い時間いてもらって、アイデアを生み出ることがこの場所の大きな提供価値だと思っている。
そのためにアイデアの源泉となるさまざまなコンテンツを用意することはもちろん、
ハラカド全体が自分のクリエイションになって、居心地いいんだよねって言ってもらえるようなサービスになればいい。

○お客さん視点で考えた時の今後のBCBC

BCBCは場所だけ提供している訳ではなく、サービスも提供しているから
今後はハラカド全体が自分の居場所って感じてもらえるようなサービスにしていく。
そのために原宿全体が居心地いいんだよねって言ってもらえるような一つの拠点として、BCBCを運営していくことを今後していきたい。

ハラカドが僕の全体的な職場みたいな感じなんだよねって言えるようなクリエイティブラウンジって素敵だと思う。
クリエイターの人のクリエイティブスタジオってインプットが必要不可欠で、パソコンを作業する以外の機能、誰か仲間がいることも大切。
それをハラカド全体で叶えていく。
商業施設全体が自分の職場、クリエイティブの場所、自分のサードプレイスになるって考えると、
飲食、銭湯、テラスもあって、少し出かけたなら原宿で、戻ったら仕事もできて、、、
僕たちはお客様が居場所として感じられる場所として使用してもらえるようにしていきたい。

○仕事の原動力は

私生活と仕事の境目がない

日常生活で誰かと何か話してもアイデアにつながる。

仕事しても、会いたい人に会いに行くことがプライベートだと思っている。

自分のことをクリエイターだとは思わないけど、クリエイティブな仕事をしている人ってどんだんプライベートと仕事の境目がなくなっている。

仕事をする場所が家でも、職場でもどっちでもいいリモートワークができるようになっていくことに関して言うと、

ワークライフインテグレートを実践している人もいるし、求められていると思うし、そうであると発揮されるクリエイティブもあると思う。

だから、仕事とプライベートを分けていないから、疲れたら寝るし、どこかいきたくなったらいくし、、、

プライベートと仕事の境目を気にしてない。

○人生、仕事をする上で大切にしていること

上下関係。年上には逆らわない。年下には従わせる。

(まあ冗談だけどねと笑いながらお話しされていました(^_^))

関わった人の人生に接着したいし、思い出として残ってもらいたい。

仕事にしても、何にしても関わる人の未来の思い出に繋がっていききたい。

‘人を大事にする。’

誰かとのこの瞬間の思い出が自分の人生を豊かにする。

自責で仕事をするのが大切。

自分がこの場所を変えていくんだ。大きな変化でなくてもいい。少しの変化でも加えようと行動することが大切。

自分の出したアイデアに対して、責任を持つことも大切にしている。

○人生、仕事をする上で大切にしていること

歳上を敬え。（2回目）

何かしらの経験をしているメンバーがたくさんいる。

三者三様の苦勞をしてきているから、何かしらの相談には乗れる。

クリエイティブなことでもなくても、会社員になりたいとかでもいい、どのようなことでもいいから、みんな相談しに行った方がいい。

相談しにきてください。

俺だから提供できることはアルバイトの時給以外に、チャンスとかアイデアとか俺たちの経験を提供することができる。

せっかくBCBCで働いているなら、その機会を掴んでほしい。

○番外編

おすすめの飲食店：琅琅（みんな）

六本木にある中華屋さん。

ご飯の提供スピードが信じられないくらい早い。

入った瞬間に城本さんの注文内容がわかっているくらい早い。

あまり頼んでなさそうなメニューを頼んでも提供スピードが速い。

- ・ 文章：谷未来
- ・ 聞き手：谷未来、中澤杏香、宇土 紗奈

BCBCの定番ランチ 身体整うおぼんざい HOMEPLANET編

○はじめに

皆さんおはこんばんにちは、Sanaです。

BCBCではランチタイムに身体が整うおぼんざい定食を提供しています。

日々、ご利用していただく会員の皆様に素敵なアイデアやクリエイションの種が生まれる環境をつくりたい。

せっかくならば、皆様の健康面までサポートしたいという想いでメニューにいたしました。

そんな、おぼんざい定食ですが、実は作り手さんが随時変わっています。

クリエイティブラウンジとして、“食”というクリエイションを通して、選りすぐりの料理人をお願いし、

会員様にFOOD CREATIONと出会うきっかけ作りをさせていただいております。

心のこもった野菜が豊富に使われたこだわりのラインナップをぜひお楽しみください。

ご用意したBCBCこだわりのメニュー。

当店ではおぼんざいと、お味噌汁と炊き立てのご飯、当店お手製のちりめんじゃこと共に、定食として提供しております。

さて、そんなおぼんざいをどんな方がどのような想いで作っているのかインタビューへ行きました。

第一回目はホームプラネットさんです。

(おぼんざいとは)

京都の日常なお惣菜や常日頃口にしている料理を指します。漢字では「お番菜」と書きますが、「番」は「常のもの」を表すことから、常の惣菜や常のおかずという意味になります。



○おぼんざいの作り手明香音さん

愛猫のかずおくんを大変可愛がっている大の猫好き。

とても気さくで、『お母さん』感が溢れるおらかな方です。

そんな明香音さんが、私たちのためにおぼんざいを作ってください、いただきながらインタビューをさせていただきました。

○どんな想いで作っているのか

オーガニックなものが好きで、ただただ食べる人たちが健康でいてほしいという想いが強い。

料理をする時、実際に声をかけながら愛を込めて作っている。

その理由は「言葉が生み出す影響は凄い」から。

子育てでポジティブな言葉をかけていると子供に自信がついたりするのと似ている。

だから料理でも食材に美味しくなるよう話しかけている。

また、同じレシピを連続で作らないように工夫したり、食べる人たちが飽きないように心がけている。

○おぼんざいを作る上で大切にしていること

素材、材料の吟味をすること。

変な調味料を使うと心が痛むから、調味料からこだわる。オーガニックなものを使うようにすること。

オーガニック中心の生活になったのはコロナ禍がきっかけ。

元々はオーガニックという言葉が街中で溢れすぎて嫌いだったのですが、自身の身体のことでも悩んでいた時に、

使っている食材を見直してみたらどうかな？という意見をもらい、

実際に食材を見つめ直しこだわりのあるものを食べるようになってから基礎体温が上がったりして身をもって良さを知ったため。

まだまだ、オーガニックにこだわることに対して理解してもらえないこともあるが、おぼんざいを通してその良さを知ってもらえたら嬉しい。



おぼんざいを用意してくださった明香音さん

○おばんざい作りを始めたきっかけ

お酒が大好き。ただお酒だけ飲むのではなく、食べ物をつまみながら嗜むのが好き。
初めは、お酒のつまみとしてお家でおばんざいを作っていた。
おばんざいは整う料理。

2年前からホームプラネットで働き始めて、みんなに整ってもらいたいという気持ちで作った。

○5種類どうやって決めているのか

BCBCではおばんざいをご飯と味噌汁と一緒に提供するのでご飯に合うものを作る。
炒め物、酢の物、漬物、胡麻和えなどバランスを考える。
夏であれば夏野菜をチョイスするなど、季節のものを取り入れる。
身体への影響や健康に配慮したレシピを考えている。

○レシピのインスピレーションはどこから？

元々レシピは予め考えてメモしているが、
おばんざいを作る日は朝起きてからタバコを吸ってコーヒーを飲みながら改めて考える。
その時間に得たひらめきで作る。



楽しそうにお話されている明香音さん



インタビュー中の筆者の様子

○HOME PLANETの好きなのは

みんながちゃんと生きている。

自分の感覚を信じてそれに従って生きている。

そんな人たちが集まっているところが好き。

○最後に

今回のインタビューでは、おぼんざいを作っている方がどのような人物でどんな想いを持って料理されているのかをお伝えしてきました。

私自身、明香音さんのおぼんざいを食べるたびに美味しく感動していたので、

直接お会いしてお話を聞けてとても感激しました。

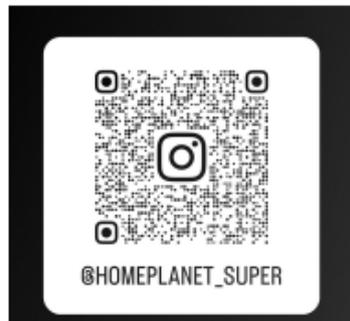
まだおぼんざいを食べたことがない方には、ぜひこの機会にこだわりの詰まったおぼんざいを味わっていただけたら嬉しいです。

ホームプラネットでもおぼんざいがおつまみとして提供されるそうなので、

是非おぼんざい定食を楽しみにBCBCへ、そしてホームプラネットへ、気軽に足を運んでみてくださいね！



インタビュー後に撮影した集合写真
左から中澤、明香音さん、筆者(Sana)



【居心地の良い場所】

- ・城本久嗣 1、家のベッド 2、レディアンSPAの個別席 3、新幹線の通路側の席
- ・マッサ 1、DRINK&MOODmou 2、お食事処アナログ 3、自宅
- ・リリアン 1、夏のBeach 2、ひのいりの神社 3、ほぼ無人の深緑のパーク
- ・森澤雄基 1、本に囲まれた場所(自室) 2、天井が高い場所 3、密接感のある狭い飲み屋
- ・近藤ジョージ 1、愛が満ち溢れた場所 2、なかまがいるところ 3、目をつむって遠くまで耳を傾けられる場所
- ・村松もも世 1、大事に手入れされている古い旅館 2、隣が空席の飛行機 3、ろうそくの灯りと湯船
- ・アーミー 1、今の家 2、大阪の実家 3、大学時代のサッカーの部室
- ・稲垣昭平 1、大型書店 2、静謐な神社 3、お香を焚いた寝室
- ・高橋良 35平米以上、駅まで徒歩15分以内、バス・トイレ別、敷金礼金なし
- ・鹿野喜司 1、自分の趣味に囲まれた書斎 2、植物や水、暖炉など自然の揺らぎが感じられる空間 3、屋外のリクライニングチェア
- ・齋藤隼風 1、暑い日の木陰 2、寒い日のオフトゥン 3、胎内

- ・中澤 杏香 1、実家(長野県で家の前が田んぼと山です) 2、緑が多くて水が綺麗なところ 3、(家)
- ・高橋 東吾 1、川 2、広い公園 3、家
- ・グレイ 賢人 1、静かな聖堂 2、温泉 3、丹波篠山(田舎)
- ・TAO 1、図書館 2、森 3、喫茶店
- ・コモン・ショーン 1、爆音で音楽を流している家のスピーカーの前 2、深夜の恵比寿ガーデンプレイス 3、夕日時間帯の麻布十番のビルの屋上
- ・本間 達広 1、海の家 2、トイレ 3、ベッド
- ・江上 明花 1、家 2、実家 3、喫茶店
- ・古澤 千尋 家
- ・鈴木 咲久美 1、カレピの家のトイレ 2、実家のトイレ 3、ハラカドのトイレ
- ・林 瑠南 1、狭い場所 2、軽く雑音のある場所 3、心地よい風が通る場所
- ・奥園 力也 1、山 2、川 3、温泉
- ・井田 紅音 1、自分の部屋 2、川沿い 3、公園
- ・浅野 詩珠 1、自分の部屋 2、飼っている犬の隣 3、福島の祖父母の家
- ・岩城 美佳 1、家族のいるリビング 2、公園 3海
- ・松本 健太 1、ル・シネマ渋谷宮下 2、まづま屋 3、西郷公園
- ・宇土 紗奈 1、好きな人たちの隣 2、祖父母の家(長崎の田舎) 3、実家のリビング
- ・川井 太陽 1、実家 2、おじいちゃんの家 3、友達の家
- ・松宮 夢歩 1、家 2、屋上 3、水族館
- ・谷 未来 1、風を感じられるところ 2、果てしなく自然が広がっているところ 3、雨の日の閑静な高層ビルの近く

Bellevilleコーヒー

○はじめに

皆さんおはこんばんにちは、Sanaです。

コーヒーの連載第二回目ということで、今回はベルビルジャパンについてお話ししていこうと思います。

そして、なぜBCBCにてベルビルさんのコーヒーを提供しているのかなどについてもお伝えしていこうと思います。



○ベルビルコーヒーについて

ベルビルさんは2015年にDavid Flynnさんという方を中心に5名の若者によってフランスのパリで設立されたスペシャルティコーヒー※1 専門の焙煎所です。

2022年日本に初出店。本国同様に焙煎所を併設しており、上質なコーヒー豆を提供されています。

下北沢の店舗ではサイフォニスト※2 世界チャンピオンの佐藤成実さんをはじめ、一流のサイフォニストが在籍しているそうです。

※1 味や香りなど決められた評価基準を満たし、コーヒー豆の体制・工程・品質管理が徹底された品質の高い生豆のこと。

※2 サイフォニストとは、サイフォンという水の蒸気圧を利用してコーヒーを淹れる器具を使ったコーヒー抽出のスペシャリストの総称。

○BCBCがベルビルコーヒーとコラボした理由

先日、BCBCの代表である大木さんのお話を聞ける機会があり、そこでベルビルさんとコラボした理由をお聞きしたのでご紹介します。

BCBC立ち上げメンバーの1人である藍さんの紹介で下北沢の店舗に行ったことがきっかけで、

そこから大木さんの事務所でお客様やスタッフのために作ってもらっていたそうです。

そこで、アイデアが出やすいコーヒーを作れるか聞いたところ、ベルビルさんからできますよ。と快諾していただき、

試行錯誤の上リラックスできたり、スッキリするコーヒーを作ってもらうことになりました。

○ベルビルさん流コーヒーバッグの美味しい淹れ方

BCBCで提供しているコーヒーバッグの美味しい淹れ方をベルビルさんからお聞きしたので、お伝えします。

- ①飲み口の広いカップにコーヒーバッグを淹れます。
- ②98°Cのお湯を200g注ぎ、4分待ちます。
- ③5-10回ほどゆすったらバッグを取り出して召し上がれ！

●最後に

今回のお話はいかがでしたでしょうか。

BCBCで働いている上で、なぜ我々はベルビルさんのコーヒーを提供しているのかについて、より理解が深まっていたら幸いです。



ギャラリーハイライト

～作家さんのお気に入り～



「ギャラリーハイライト」
文章担当：グレイ賢人

<<MESSAGE>>

新埜康平

8/16-21日



「RIPPLE EFFECT」

新埜さんは能登半島地震を見て、「僕には何が出来るだろう?」と思い、チャリティ運動への寄付の為にこの作品を描いた。日本画で使われる銀粉、和紙、鉱石、膠等を合わせ、色々な力を借りた。悲劇の時に人々が助け合う、そんな些細な優しさはさざなみのように広がって行く。その光景を元に「Ripple Effect」が生まれた。



「keep it real #higher and higher 51」

ギャラリースタッフ

賢人のお気に入り その1

モノクロ系の物だとなんでも好きですが、特に白い枠が囲んでいる様子がポラロイド写真に似ているので、モダンではあるがタイムレスな雰囲気漂うのが良いですね。

とあるお茶原宿個展

とあるお茶

8/22-28日



「いちご」

いちごに囲まれウサギの人形に抱きつく少女。とあるお茶さんの一番お気に入りである。「微笑みがとにかく可愛くて!」



「天使」

ギャラリースタッフ

賢人のお気に入り その2

迷っている人達だらけの世界。そんな時代だからこそ天使が必要なんですよね。美しいリマインダーになれるこの絵に心が引っぱられます。